



創立60周年
「繋ぐ」

広島交響楽団

第26回

廿日市

定期演奏会

2023
4.23 SUN

15:00開演 (14:15開場)

ブラームス：
ピアノ協奏曲第2番
変ロ長調作品83

Brahms：
Piano Concerto No.2 in B-flat major Op.83

交響曲第4番
ホ短調作品98

Symphony No.4 in E minor Op.98

ピアノ：横山幸雄
Piano：Yukio Yokoyama

© アールアンフィニ

指揮：高関健
Conductor：Ken Takaseki

© K.Miura

ブラームス、
邂逅する抒情と迸る熱情

はつかち文化ホール ウッドワンさくらびあ大ホール

廿日市市制施行35周年記念

入場料 (税込)
(全席指定)

S席3,800円/A席3,300円 (A席学生1,500円)

※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。当日要学生証掲示。
※学生席は割引なし。ウッドワンさくらびあ事務室と広響事務局のみ取扱い。

■主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社
■共催/公益財団法人廿日市市芸術文化振興事業団

■特別協賛/ Energo 中国電力

■協賛/ウッドワン、シブヤ、生活協同組合ひろしま、
テリカウイング、フマキラー、山崎本社
■後援/廿日市市、廿日市市教育委員会

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。
※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。
※開演時間に遅れた場合、入場に制限がございます。

チケット発売日

■さくらびあ倶楽部会員/2月5日(日)
■一般/2月12日(日) ■広響事務局/2月13日(月)

プレイガイド

ウッドワンさくらびあ事務室、広響事務局

●さくらびあ倶楽部会員/500円引(ポイント対象外。オンラインチケットの取扱いはありません。)

お問い合わせ/ウッドワンさくらびあ事務室 ☎0829-20-0111、広響事務局 ☎082-532-3080

アクセス/広島宮島線「廿日市市役所前」駅から徒歩7分、JR山陽本線「宮内串戸」駅から徒歩約15分 ※駐車場には限りがあります。ご来場は公共交通機関をご利用ください。

広島交響楽団



創立60周年
“繋ぐ”

第26回

廿日市定期演奏会

ブラームス、
邂逅する抒情と
進る熱情

ますます意欲的に活動に取り組むオールマイティーなピアニスト横山幸雄。
デビュー30年を越えて、あらたな境地の横山が選んだのはブラームスのピアノ協奏曲第2番。
難曲かつ大曲でその本領を発揮し、オーケストラと奏でます。受けるのは広響第3代の音楽監督を務めた高関健。
作品の世界を掘り下げるあくなき探求者で知性派の高関が交響曲第4番では、
そのタクトに内なる熱い思いをこめて音を積み上げるブラームス・プログラムのコンサートです。



© K.Miura

指揮：高関健 Conductor: Ken Takaseki

サンクトペテルブルグ・フィル定期演奏会で聴衆や楽員から大絶賛を受けるなど海外への客演も多く、マイスキー、パールマン、クレームル、ブーレーズ等の世界的ソリストや作曲家、特にアルゲリッチからは3回の共演を通じて絶大な信頼を得る、緻密なスコアの分析からスケールの大きな音楽を作り出す名匠。国内主要オーケストラで重職を歴任し、現在東京シティ・フィル常任指揮者、仙台フィルレジデント・コンダクター（2023年4月から常任指揮者）、富士山静岡響首席指揮者、東京藝大指揮科教授。オペラでも新国立劇場やウラジオストクとサンクトペテルブルグでの團伊玖磨「夕鶴」、大阪カレッジオペラでのブリテン「ピーター・グライツ」、新国立劇場公演ストラヴィンスキー「夜鳴きうぐいす」とチャイコフスキー「イオランタ」などを指揮、作品の魅力を存分に伝えて高い評価を得ている。1977年カラヤン指揮者コンクールジャパン、1984年ハンス・スワロフスキー国際指揮者コンクール優勝。第4回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第10回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第50回サントリー音楽賞受賞。NHK等の番組にも定期的に出演するなど、幅広い活躍を続けている。 twitter.com/KenTakaseki

ピアノ：横山幸雄 Piano: Yukio Yokoyama

第12回ショパン国際ピアノ・コンクールにおいて歴代の日本人として最年少で入賞。文化庁芸術選奨文部大臣新人賞受賞。ポーランド政府よりショパンの作品に対して特に顕著な芸術活動を行った世界で100名の芸術家に贈られる「ショパン・パスポート」を授与される。2010年、「ショパン・ピアノ独奏曲 全166曲コンサート」を行い、ギネス世界記録に認定され、翌年「212曲」を演奏して記録を更新した。リリースされたCDは、文化庁芸術祭レコード部門優秀賞、2021年デビュー30周年記念CD「大友直人指揮/ショパンピアノ協奏曲」をソニーミュージックよりリリース。2027年ベートーヴェン没後200年に向けてのシリーズ「ベートーヴェン・プラス」の開催や「4大ピアノ協奏曲」の一挙演奏といった意欲的な取り組みは注目を集め、高い評価を確立している。2019年自ら企画する「入魂のショパン」に於いて、ショパンが生涯で作曲した240曲の作品をすべて演奏するという前人未踏のプロジェクトを開催。エリザベト音楽大学客員教授、広島大学客員教授、名古屋芸術大学特別客員教授、日本パデレフスキ協会会長。 オフィシャルサイト<https://yokoyamayukio.net/>



© ZIGEN

広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra



国際平和文化都市「広島」を拠点に「Music for Peace ～音楽で平和を～」をテーマに活動するプロオーケストラ。2017年より下野竜也が音楽総監督を務め、その意欲的な音楽づくりが注目を集めている。クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者、秋山和慶が終身名誉指揮者を務めるほか、ウィーン・フィル、コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデをミュージック・パートナーに、細川俊夫をコンポーザー・イン・レジデンスに、マルタ・アルゲリッチを平和音楽大使に迎えている。1963年「広島市民交響楽団」として設立、1970年に「広島交響楽団」へ改称。学校での音楽鑑賞教室や社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域に根差した楽団として「広響」の愛称で親しまれる。海外ではオーストリア、チェコ、フランス、ロシア、韓国、ポーランドで公演を行い音楽によるメッセージを発信している。「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞（ユネスコ）」「広島市民賞」「第51回ENEOS音楽賞洋楽部門奨励賞」ほか受賞。 公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp/>